

令和4年度

福島区制80周年

福島区運営方針の自己評価

※詳しい内容については、それぞれ以下の資料をご参照ください。

- ・各項目の目標達成状況：資料3 令和4年度運営方針最終振り返り(一覧表)
- ・各取組の具体的な内容：資料5 運営方針様式2

はじめに

令和4年度も前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が予定どおり進められなかった取組、予定どおり事業を実施したものの目標が達成できない取組もありました。

令和5年度につきましては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されましたが、引き続き感染対策をしつつ事業を実施してまいります。

本年は福島区制80周年を迎える節目の年となります。

引き続き、市民・区民の皆さまとともにより良い福島区をめざしてまいりますので、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



運営方針とは

運営方針は区将来ビジョンで掲げる区の目標像、「お子さんからお年寄りまで、これからも住み続けたいまち 福島区」を実現するため、区役所の様々な業務の中で、特に集中して取り組むものについて目標などを取りまとめたものです。

運営方針の全体スケジュールイメージ(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度運営方針	最終振り返り											
令和5年度運営方針				運営方針に基づき事業を実施								
令和6年度運営方針						素案策定					当初案確定	

経営課題 1 人と人がつながるまちづくり

【概要】



- 地域活動協議会をはじめとした地域団体の活動活性化を支援

【令和4年度の主な取組内容】

- 地域活動協議会の活動の活性化に向けた支援
- 地域活動協議会の認知度向上に向けた支援



【目標達成結果と今後の対応】

- 「具体的取組」2項目とも目標を達成
- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた生活状況における人と人のつながりを進め、地域活動に必要な財源確保や若い世代など地域活動への関りの薄かった層への情報発信についての支援が必要

経営課題 2 安全・安心なまちづくり

【概要】

- 区民一人ひとりの「自助」「共助」の防災意識の向上を図る
- 地域・警察・区役所が連携し、防犯意識の向上と街頭犯罪の減少・抑止をめざして各種事業に取り組む



【令和4年度の主な取組内容】

- 避難所開設訓練等への支援
- 小・中学生の防災意識の向上
- 防犯カメラ・街路防犯灯の設置、防犯啓発



【目標達成結果と今後の対応】

- 「具体的取組」5項目とも目標を達成
- あらゆる世代の方に参加いただける取組を実施し、防災意識の向上をめざす
- 区民の防犯意識の向上をめざし、地域や警察と連携し防犯活動を推進

経営課題 3 次世代を元気に育むまちづくり

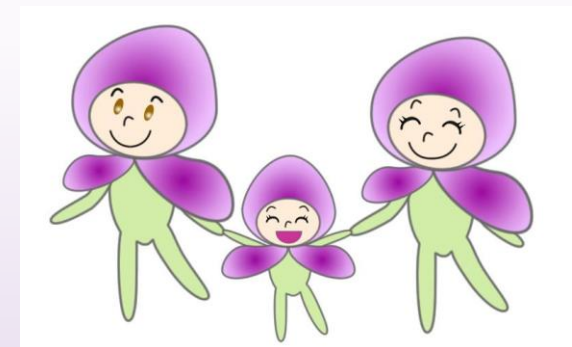
【概要】



- 子育てしている親の不安感などの解消のため各種施策に取り組む
- 学校教育の現場ニーズに対応した支援を学校と連携して行う

【令和4年度の主な取組内容】

- 育児不安軽減に向けた子育て支援事業
- 区役所庁舎を活用した子育て支援事業
- 小・中学生の体力向上事業
- 小・中学生の基礎学力向上事業



【目標達成結果と今後の対応】

- 「具体的取組」4項目中2項目の目標を達成
- 次世代を元気に育むまちづくりをめざし、子育て支援事業を充実

経営課題 4 誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり

【概要】



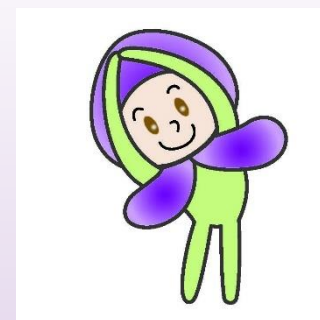
- 地域住民や企業、団体、関係機関等多様な主体と連携しながら地域福祉の推進に取り組む
- 誰もがいきいきと毎日を暮らせるように、日頃から健康への関心を高めてもらえるような啓発活動などに取り組む

【令和4年度の主な取組内容】

- 「みんなの相談室」・「福島お助けネットワーク」事業
- 地域福祉に関する広報啓発
- がん検診の受診率向上
- いきいき百歳体操の普及・継続支援

【目標達成結果と今後の対応】

- 「具体的取組」4項目中3項目の目標を達成
- 区民のさまざまな問題に対応していくため、相談支援体制の充実やつながり支えあう地域づくりに取り組む



経営課題 5 魅力あふれるまちづくり

【概要】



- 地域住民や企業、商店街等との連携により、区の魅力を発信できるイベントを実施するとともに花とみどりのまちづくりを推進するなど活気とうるおいあるまちをめざす

【令和4年度の主な取組内容】

- 「のだふじ巡り」など区の特性を活かしたイベントの実施
- 花とみどりのまちづくり事業

【目標達成結果と今後の対応】

- 「具体的取組」2項目とも達成
- 引き続き、イベントなどを通して区の魅力を発信
- 区民の方と協力して、花とみどりの取組を推進

自己評価の総括

【1年間の取組成果と今後取り組みたいこと】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が薄れつつあり、感染防止策を続けながら、従来の事業を再開できる状況となっており、昨年度に比べて目標を達成できる取組も増えてきた。
- ・にぎわいづくりにかかる取組は年度後半以降活気を取り戻しており、翌年度以降はさらなる活性化をめざしたい。また、各地域活動協議会が実施する催しなどを支援し、地域活動の活性化に資するよう取り組んでいきたい。
- ・災害時の避難で支援を要する方をサポートする「個別避難計画」の取組については、今後懸念される南海トラフ巨大地震等に備えて、地域との連携を強め、着実に進めたい。

自己評価の総括

【解決すべき課題と今後の改善方向】

- ・ コロナ禍以前から課題となっていた地域活動の担い手不足等は、この数年の活動自粛期間をはさんでより深刻な状況となっている。
- ・ 区民まつりや区の魅力を発信できるイベントであるふくしまてんこもりなど、地域住民が顔を合わせて楽しめるイベントなどをきっかけに人と人とのつながり、支えあい大切さをもう一度確認し、住みよい地域づくりのために力を合わせて防災や福祉の取組を進められるような環境づくりに努めていく必要がある。